

[2025/2/28 JDCHCT/全国調査ニュース \(第47回 日本造血・免疫細胞療法学会総会プログラム\)](#)

TRUMP2アカウント管理と全国調査関連のご案内

坂井 志帆 (日本造血細胞移植データセンター, JDCHCT)

1. 「ER/ES指針」とは

指針の概要説明

2. TRUMP2 個人用アカウントの運用について

- メールアドレス連携（Version 2.12からの必須対応）
- ご利用にあたってご留意いただきたいこと

ER/ES指針について、簡単にご紹介いたしましたあと、TRUMP2個人用アカウントのご利用に関しご留意いただきたい点をご案内します。

1. 「ER/ES指針」とは 指針の概要説明

2. TRUMP2 個人用アカウントの運用について

- メールアドレス連携（Version 2.12からの必須対応）
- ご利用にあたってご留意いただきたいこと

まずは、ER/ES指針に関する概要説明です。

こちらは、以前の学会総会でもお話しした内容の為、お聞き覚えのある方もいらっしゃるかと思いますが、データ管理、およびデータ入力に用いるレジストリのアカウント管理に関する非常に重要なご案内となります。是非復習としてお聞きいただけますと幸いです。

通知元：厚生労働省医薬食品局長
**「医薬品等の承認又は許可等に係る申請等における
電磁的記録及び電子署名の利用について」**
(2005年4月1日通知)

→信頼性確保の為の留意事項

真正性(なりすまし、改ざんのリスク)、見読性、保存性(消失/
変質/破壊/読み出せないなどのリスク)、IDやパスワードといった
個人管理すべき情報の取り扱いetc…

「ER/ES指針」というのは略称です。
2005年に、厚生労働省医薬食品局長より通知された「医薬品等の承認又は許可等に係る申請等における電磁的記録及び電子署名の利用について」という指針を指しています。

この指針では、電子データの使用における信頼性担保の留意事項が示されています。

なりすましや改ざんがなく、責任が明確であることをあらわす「真正性」、記録された内容を人の目でみてわかるようにしておく「見読性」、これらの状態が続いたまま、必要な期間データを確保できる「保存性」といった内容から、もっと身近な、IDやパスワードといった個人管理すべき情報の取り扱いなども書かれています。

★アカウントの管理は、データ品質に大きなかわり★



複数人利用NG



アカウント利用者は明確に！

ご存じの通り、TRUMPをはじめとしたレジストリは、医療データを入力する為にそれぞれのアカウントを作り、必要な情報を蓄積していくものです。

このデータ入力を行うための窓口となる「アカウント」は、その管理が、入力されるデータの品質にとってとても重要となります。

お作りいただいたアカウントは、複数人でお使いいただくことを禁止しています。

「ER/ES指針」では、電子データの作成者と責任者を明確にすることが指摘されていますので「【どなたのアカウントから】入力・提出されたデータであるか」を明確にすることが大切です。適切なアカウント管理へのご協力をお願いいたします。

■ パスワードの管理



また、おそらく多くの方にとって「パスワードの管理」の重要性については、とても身近な話題だと思えます。
第三者には知らせない、誰かに知られてしまった場合は必ず変更することはもちろんですが、入力しているときのご自身の背後・周囲から、内容が見られていないかを注意することも、安全なパスワード管理についての一歩と言えます。

1. 「ER/ES指針」とは 指針の概要説明

2. TRUMP2 個人用アカウントの運用について

- メールアドレス連携（Version 2.12からの必須対応）
- ご利用にあたってご留意いただきたいこと

では、ここまでのER/ES指針についてのご説明を踏まえつつ、TRUMP2のデータ入力・提出にご利用いただく個人用アカウントのご利用について説明します。

こちらは、今ほどご説明した「真正性」の内容に深く関連します。

すでに多くの方にお使いいただいている個人用アカウントは、近年、機能の追加やルールの見直しがなされています。本日は特に重要なものをピックアップしてお伝えします。



TRUMPver2.12（2024年12月公開）以降、 TRUMP上で個人メールアドレスが 紐づけられているアカウントからのみ データ入力・提出が可能です

※メールアドレスが未連携のアカウントには警告が表示されます
※ご施設のTRUMPから連携作業が必要になります



8

まず、昨年末に公開されたTRUMPver2.12からの変更点で最も重要なものからご案内いたします。

これまでも複数回、全国調査参加施設の皆様にはメールなどで改修予定をお伝えしておりました通り、TRUMPをオンライン稼働していただいているご施設では【個人のメールアドレスが紐づけられているアカウント】からのみ、データの入力・提出が可能となりました。

今年も1月～2月にかけてデータ提出期間としていた「2025年台帳登録」のため、データ入力・提出作業に携わっていただいた皆様は、この作業が完了していると思われます。万が一、メールアドレスの紐づけに対応できていないアカウントをお持ちの方がいらっしゃいましたら、どうかお早めにご作業をお願いいたします。

■ 個人メールアドレスの連携

1) アカウント編集画面を表示し、メールアドレス欄の「変更」ボタンをクリックします

※これからメールアドレスを紐づけるアカウントでログイン※

アカウントの編集

ID*: (019002-) user1

Password: 変更する場合のみ入力

Password(確認): 変更する場合のみ入力

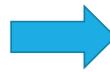
氏名*: 東 大幸

移植担当医*: (現在移植症例を担当されていなくても医師の場合はチェックしてください)

TRUMP管理者*:

メールアドレス: **変更**

アカウント削除 保存 キャンセル



2) メールアドレス登録・変更画面を表示し、アカウントに登録するメールアドレスを入力して「確認コード送信」ボタンをクリックします

メールアドレス登録・変更

1. メールアドレス入力
アカウントに登録するメールアドレスを入力してください。
・施設情報確認書等でご連絡いただいたアドレスのみ入力できます
・複数名で利用されているアドレスは利用できません

メールアドレス:

2. 確認コード取得
入力されたアドレス宛に確認コードを送信します。
確認コード送信

3. 確認コード入力
メールをご確認いただき、記載されている「確認コード」を入力してください。

確認コード*:

キャンセル

JDCHCT報告済みの
メールアドレスのみ
連携可能！

JDCHCTのホームページで公開されているマニュアルでもメールアドレスの紐づけ作業については詳しく説明をしておりますが、本日はこの場をお借りし、簡単に作業方法をお伝えいたします。

まず、これからメールアドレスを紐づけたい、個人のTRUMPデータ入力・提出用アカウントにログインし、アカウントの編集画面を表示させます。メールアドレス欄右横の「変更」のボタンをクリックします。次に「メールアドレス登録・変更」の画面が表示されますので、アカウントに登録するメールアドレスを入力して「確認コード送信」ボタンをクリックします。

なお、この時入力し、連携に用いるメールアドレスは「施設情報確認書（造血細胞移植レジストリ）」のご提出をもってJDCHCTにご報告いただいたものに限られますので、ご注意ください。

■ 個人メールアドレスの連携

- 3) 確認メールが送信されると、
メッセージが表示されます
※メールを受信するまで
約5分ほどお時間がかかる場合があります



- 4) 入力されたメールアドレスに届く確認コードを
「確認コード」欄へ入力し
「送信」ボタンをクリックします

確認メールが送信されると、メッセージが表示されますので、「OK」をクリックし、先ほど入力したメールアドレス宛に届く確認コードをチェックします。
その後、TRUMPの画面上から、「確認コード」を入力し、「送信」をクリックします。

■ 個人メールアドレスの連携

- 5) 正常に確認コードの入力および「送信」ボタンのクリックが行われると、アカウント編集画面のメールアドレス欄に情報が反映されますので内容を再確認し、問題がなければ「保存」をクリックします

アカウントの編集

ID*: (019002-) user1

Password: 変更する場合のみ入力

Password(確認): 変更する場合のみ入力

氏名*: 東 大幸

移植担当医*: (現在移植症例を担当されていないも医師の場合はチェックしてください)

TRUMP管理者*:

メールアドレス: sample@jdchct.or.jp

CAUTION

「保存」のボタンを押し忘れると
メールアドレスが反映されません！



ここまでの工程が完了し、正常に確認コードの入力および「送信」ボタンのクリックが行われると、アカウント編集画面のメールアドレス欄に情報が反映されます。

あとは、画面に表示されている内容を再確認し、問題がなければ忘れずに「保存」の動作をお願いします。

ここで「保存」のボタンを押し忘れてしまうと、せっかくご入力いただいたメールアドレスが連携されずに終了されてしまいますので、必ずご確認ください。

TRUMP2 個人用アカウントの運用について

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

メールアドレスを登録・変更するための詳細な画像付き手順は
「**TRUMP2マニュアル（第4版）**」でご確認いただけます

該当ページ：

「5.8 アカウントの管理（追加・編集・削除）」
p.26～ <メールアドレスを登録・変更する場合>

メールアドレス連携用の画面が表示できない…
→TRUMP2をオフライン稼働している可能性があります！

[☒詳細はお気軽にJDCHCTまで](#)



12

メールアドレス紐づけのための詳細な手順は、「TRUMP2マニュアル（第4版）」でもご確認いただけます。ご参考としていただけますと幸いです。

なお、繰り返しとなりますが、このメールアドレス紐づけの作業は【TRUMP2をオンラインで稼働していただいている場合】に可能となります。ご紹介した作業がご施設のTRUMPで出来ない場合はTRUMP2をオフライン状態で使用されている可能性がありますので、JDCHCTまでご相談いただけますようお願いいたします。オンライン稼働への調整を含め、ご案内させていただきます。

ポイント① 不要アカウントの削除

- 異動・退職者の不要となった個人用アカウントは必ず削除する
- 後任者（別人物）による使いまわし厳禁
- 新任者には新規アカウントを発行する



転勤

アカウントの編集

ID*: (019002-) user1

Password: 変更する場合のみ入力

Password(確認): 変更する場合のみ入力

氏名*:

移轉担当医*: (現在移轉担当を担当されていないでも医師の場合はチェックしてください)

TRUMP管理者*:

メールアドレス:

変更

アカウント削除 保存 キャンセル

TRUMP2画面で
削除可能

次に、JDCHCTにて日頃よくご相談いただく内容や、特にご注意ください
たいポイントを数点ご紹介します。

まず1つ目として、不要となったアカウントの削除にご対応ください。担
当者の異動・退職等を理由とし、不要となった個人用アカウントは、不正
利用のトラブルを避けるためにも必ず管理者アカウントからの削除をお願
いいたします。同じユーザーIDを後任の方が使いまわすことも原則禁止し
ていますので、新しく着任された方には必ず新しいアカウントの発行をお
願いします。

ポイント② 氏名入力欄の正しい利用

「姓」と「名」を分割し、アカウント保持者の個人名を入力する

The image shows a screenshot of the 'アカウントの編集' (Edit Account) form. The '氏名*' (Name) field is highlighted with a red box. A callout box on the left contains the following text:

×悪い例×

- ・部署名
- ・職名
- ・架空の人物名

The form includes fields for ID*, Password, Password(確認), 氏名*, 医師* (with a checkbox), TRUMP管理者* (with a checkbox), and メールアドレス*. There are buttons for 'アカウント削除', '保存', and 'キャンセル'.

14

2つ目として、個人用アカウントに登録する「氏名」は必ず「姓」と「名」を分割して、アカウントを保持される方の個人名をご入力ください。まれに部署名、職名、あきらかに架空の人物名だとわかるものなどが登録されています。

個人用アカウントはその名の通り、「実在するおひとりの方が利用すること」を想定しており、複数人での共用を禁止しています。また、TRUMPを通して提出されたデータは提出アカウントの情報を含んだ状態で管理されます。

アカウントに登録されている氏名の情報も併せて記録しておりますので、正確な氏名情報の登録にご協力ください。

ポイント③ なりすまし利用・代理利用の禁止

- 医師以外の方が「入力担当者」として
個人用アカウントを持つことも可能※
※ご施設内規定に沿ってご判断ください
- ご施設情報の更新
(施設情報確認書の提出) は通年受付可能



3つ目のポイントについても、2つ目にご案内した「個人用アカウントは『おひとりの方が利用する』こと」に同じく、氏名を登録されている方以外が代理として使用しないこととなります。

JDCHCTからは、提出データは連絡責任医師の責任のもとでご提出いただく必要性をご案内しておりますが、ご施設内の規定などを遵守の上、看護師・移植コーディネーター・事務職員の方などがデータ入力等にご対応いただく場面も想定し、医師以外の方を「入力担当者」として登録の上、個人用アカウントが作成されることも可能としています。

「施設情報確認書（造血細胞移植レジストリ）」のご提出をもって正式にご施設情報に登録された方は、メールアドレスの連携を含め、問題なく個人用アカウントの発行に進んでいただけます。

なお、ご施設情報の更新連絡は、年中お受けしております。急な増員があった際などには、本人のアカウント作成に向けた必要事項のご報告、およびTRUMPの操作による個人用アカウントの追加にご協力をお願いします。

個人用アカウントの管理に関する詳細は
「TRUMP2マニュアル（第4版）」でご確認いただけます

該当ページ：

p.21～「5.8 アカウントの管理（追加・編集・削除）」



ここまでにお伝えした留意事項のほか、個人用アカウントの管理についての詳細は「TRUMP2マニュアル（第4版）」にてご確認いただけます。また、ご施設固有の内容のご相談がなおりの際などはJDCHCTまでお問い合わせいただくことも可能です。アカウントの正しい管理に向け、引き続きご協力をお願いいたします。

JDCHCTお問い合わせ先

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

日本造血細胞移植データセンター（JDCHCT）お問い合わせ

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 愛知医科大学内
TEL: 0561-65-5821 FAX: 0561-65-5822 メール: jdchct-dc@jdchct.or.jp

血縁ドナー登録センター

TEL: 0561-65-5880 FAX: 0561-65-5822

※全職員の在宅勤務を実施しております※

お問い合わせへのご回答はメールを中心に対応させていただいておりますので
何とぞご協力のほどお願い申し上げます。

お気軽に
お問い合わせください！



17

ご説明した内容につきましてご不明な点が生じられました際は、JDCHCTまでお問い合わせください。お問い合わせ先はこちらのスライドの通りとなります。

なお、JDCHCTでは全職員の在宅勤務を導入しております。お問い合わせへのご回答はメールを中心に対応させていただいており、郵送やお電話でのご回答はお時間をいただく場合がございますのでご了承ください。